

区内入札業者89社と懇談実施

「公契約条例遵守」と「標準見積書」請求問題で懇談、4社と確認書締結

①9月19日、21人の参加で区内の入札業者89社と懇談しました。今回の訪問で面談・懇談できた企業が50社(56%)、不在が32社(36%)、お断り7社(8%)でした。確認書は4社と取り交わすことが出来ました。

②今回の懇談の第一の目的は、実施された渋谷区公契約条例を遵守する立場を互いに確認し、もう一步進んで渋谷地域を代表する建設労働組合と企業・業界とで「公契約条例を遵守する確認書」の締結を取り交わすことでした。

③もう一点は、いま建設産業再生の最大の課題となっている「社会保険加入対策」として「法定福利費を保障」していく「標準見積書」請求運動に対し、組合と企業・業界とで取り組んでいくことを確認し、「賃上げと標準見積書請求運動を遵守する」確認書を組合と企業とで取り交わすことでした。

後継者・技術者育成は急務「賃上げ」と「公契約条例」は評価できる 入札制度の改善要望多数出される

公契約条例に対して、ほとんどの企業が「条例は理解しておりきちんと守る」との回答が多数でした。

中堅ゼネコンの経営者は、「東北地方の復興に職人が取られ、これから東京オリンピックに向け東京を中心に大規模工事が集中するが、技術者がいなければ工事は進まない。技術者は年々高齢化している。後継者・技術者を育てていかないとこの業界はパンクする」「国交省が提案する賃上げと、社会保険加入はさけて通れない課題だと思う」と話され、さらに、「渋谷区の公契約条例は労働者の賃金を保障する制度として必要だと思う。組合とは立場は違うが、条例の目的や趣旨については合意できることが多い」という貴重な提案・話しをしていただきました。

さらに、渋谷区の入札に対し「工事量が少ない」「入札下限率が低すぎる。赤字になる工事もあり改善してほしい」「労働者の賃金を上げるためには入札額も上げてもらわないと業者はつぶれる」との声も出されました。

これらの貴重な提案・要望に対し、組合としても積極的に行政に提案していきます。

ゼネコン各社とも様子見 元請・ゼネコンは「実施日を設定し、広く広報せよ」の声が上がっている

社会保険加入のため「法定福利費を確保する『標準見積書請求』運動は、9月26日から一斉開始となりました。(株)フジタは「受け入れ態勢できた」と回答され、東急建設(株)は「1次・2次協力会社に指導」と回答されました。しかし、大手ゼネコン企業各社も「いつから実施するとは確約しておらず、他社の様子見」という状態です。

仲間からの聞き取りでも「元請、一次業者からも『何の連絡も、話しもない』」という声が上がっており、元請企業の責任ある積極的姿勢と行動が求められています。

また、「知らない、わからない」と回答した企業も多く、情報の普及、広報活動が急がれます。

賃金は技能者不足職種を除き全体的に横ばい

単価引き上げは(株)フジタは「藤光会で検討している」との回答でしたが、型枠大工・左官など職人不足から賃金が上がっている職種も出ていますが、全体として「賃金は上がっていない。上げていない」という回答が多く横ばいという状態でした。

国交省が13年度引き上げた設計労務単価の効果はほとんど現れていません。

東京土建は職人・一人親方親方の組合では？ 現在の組合は法人500社が加入する組織に

組合に対し「東京土建のことはよく知っている」という事業所がおおく、A社の社長との懇談で、東京土建について「一人親方・職人の組合では？」という認識でした。

《東京土建渋谷支部の現在は・・・》

現在、東京土建渋谷支部は組織人数2700人を突破し、内法人事業所は500社を超え、労働者・職人はもとより法

人社長もたくさん加入しています。業種はさまざまです。

働き先は、昔の町場は減少し、ゼネコン、住宅企業、不動産関係のデベロッパーの仕事、パワービルダー関係に従事する法人事業所と労働者が増加しています。

また、渋谷支部の特徴として、設計士・設計事務所からの加入が多く800人を超えており、組合の3割を占め、仕事確保運動に大きな役割を發揮しています。

東京土建は短期大学「建築カレッジ」で技術者養成

東京都認定職業訓練法人「技術センター」運営

東京土建は、技術者養成を組合独自に取り組むため東京都認可の短期大学「東京建築カレッジ」を運営しており、毎年30人を超える技術者を世に送り出しています。

また、東京都認可のもと職業訓練法人「東京土建技術センター」も運営し、作業主任講習、2級建築士準備講座など実施しています。

社保加入を検討中の事業所は

東京土建で相談受付中

社会保険加入義務は、待ったなしの取り組みとなっています。建設業許可・経営審査時には「社会保険加入の審査が行われ、未加入企業に対しては『加入指導』が強化されています。

東京土建が運営する土建国保は、厚生年金とセットできます。また、雇用保険、労災保険・一人親方労災の加入手続きも組合で加入することが出来ます。

社会保険加入を検討されている事業所は、組合で健康保険と厚生年金、労災保険と雇用保険など必要な保険加入の手続きを全て行うことが出来ます。

法定福利費請求相談も組合へ

また、これから会社が負担する「法定福利費を元請や施主に請求する『標準見積書』請求」運動に向け、「会社や下請が負担する法定福利費の計算の仕方・請求書の作り方」についても組合で相談受付中です。是非ご連絡下さい。

標準見積書説明会

日時／10月22日(火)

PM7時～

会場／東京土建渋谷支部会館

「渋谷区公契約条例」を遵守する確認書

渋谷区公契約条例は、条例の目的を第1条で「渋谷区が締結する公契約に係る業務に従事する労働者等の適正な労働条件を確保することにより、公契約に係る事業の質の向上を図る」としています。そして、第4条で「受注者は公契約を受注した責任を自覚し、法令等を遵守することはもとより、公契約に係る業務に従事する者の適正な労働条件の確保その他の労働環境の整備に努めなければならない」としています。

さらに、渋谷区は、13年度公共工事設計労務単価の引き上げに合わせ、労働者等に支払う下限報酬額（賃金）についても8月1日で平均16%引き上げ、8月以降の工事に適用することを決定しました。

私たち建設労働組合は、渋谷区公契約条例の目的を受注業者ならびに下請企業が理解し、条例の普及ならびに下限報酬額を労働者等に適正に支払うことで、現場で従事する建設労働者の賃金を適正に下支えし、労働条件の改善、競争の規制を通じて、条例がめざす公共建築物の質の向上を図り、住民の生活向上に貢献して行きたいと考えております。

以上の目的、趣旨をご理解いただき以下の内容について確認書を締結します。

確認事項

- 1、公契約条例を遵守し、条例の目的達成のため受注企業、下請企業として誠意を持って対応します。
- 2、公契約条例の趣旨・目的を自社ならびに下請企業、現場労働者等に徹底し、制度普及に努力します。
- 3、現場に働く建設労働者等の労働条件改善に向け、建設労働者等の賃金は、条例が規定する下限報酬額以上を支払うことを徹底します。
- 4、受注者、下請企業は、現場労働者等から下限報酬額について申し出があつ場合は、誠意を持って対応し、不利益な扱いをしないことを約束します。

2013年 月 日

会社名
代表者名
住所

組合名 全建総連東京都連合会渋谷地区協議会
東京土建一般労働組合渋谷支部
支部執行委員長 堀江 正
首都圏建設産業ユニオン城南支部
支部執行委員長 内藤彰一郎

技能労働者の大幅賃上げと社会保険適用促進 を図る「標準見積書」を適正に支払う確認書

国交省の主導のもと、建設業では必要な人材を確保し、健全な競争現場を構築するため、平成24年度から、行政も建設業界もあげて賃金の引き上げ、社会保険未加入対策に取り組んでいます。

国交省は、建設労働者の賃金引上げと、社会保険加入対策として2013年度公共工事設計労務単価を平均15%引き上げ、事業主が負担する社会保険料（率）についても参考資料として公表しました。

法定福利費を内訳として明示した「標準見積書」により必要な金額を確保していくことで合意し、2013年9月から一斉に活用開始するとしています。

また、日本建設業連合会は、13年4月に「技能労働者の適正な賃金の確保について」、7月には「法定福利費を内訳明示した見積書の活用マニュアル」を発表し、賃金引上げと、法定福利費の適正支払を推進していくとしています。

以上の点を踏まえ、技能労働者の確保と育成のため賃金の大幅引き上げと、社会保険加入に必要な法定福利費の適正支払を企業、業界、組合とも誠意を持って推進していくための確認書を取り交わします。

確認事項

- 1、技能労働者の労働条件改善のため、13年度公共工事設計労務単価に見合う賃金の引き上げを公共、民間工事とも検討し、誠実に対応します。
- 2、社会保険未加入を理由に下請企業、現場労働者等の排除は行いません。
- 3、技能労働者の社会保険加入のため「法定福利費を別枠明示した標準見積書」の活用を積極的に推進し、協力企業への指導、説明を徹底していきます。
- 4、下請企業からの標準見積書の提出、請求に対し誠実に対応し支払います。
- 5、工事の見積り、契約、支払等、建設業法を遵守し、指値発注、ダンピング発注等の防止に誠実に対応します。

2013年 月 日

会社名
代表者名
住所

組合名 全建総連東京都連合会渋谷地区協議会
東京土建一般労働組合渋谷支部
支部執行委員長 堀江 正
首都圏建設産業ユニオン城南支部
支部執行委員長 内藤彰一郎